

## 「あいちの地質 99 選」(案)

近年、ジオパーク、ジオサイト、世界自然遺産などの言葉を耳にすることが多くなっています。geo はもともと地球を意味する言葉です。したがって地質と大きなかかわりがあります。今回は「みのひだ地質 99 選」(岐阜新聞社, 2011) にあやかって、以前から考えていた「あいちの地質 99 選」の提案です。「地質」をどの範囲まで含めるか、「地域」をどの程度まとめるかで「99」の根拠はあいまいになりますが、会報 no.50 ということもあって、ひとまずまとめてみました。いろいろなご意見をお聞かせ願えると幸いです。

### (1) ジオパークとジオサイト

ジオパークの考えはドイツから始まってきたといわれ、当初は、どのような地質活動によって地球の資源が作られ、どのような地質過程で目にする風景・景観がつくられたのかということを理解してもらい、地質に関する興味を呼び起こすことであったとききます。それに対して他の欧州の国からジオツーリズムという考えが出され、それが重視されるようになってきました。ジオツーリズムは、ある場所の地球科学的な現象に対して、興味、知識、理解を得ることを目的とした観光のことです。しかし、それも「環境、文化、美しさ、遺産、住民の福利などを維持し、向上させる観光」と内容がひろがってきました。

ジオパークとは、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を複数含む自然公園です。ユネスコのガイドラインによれば、地域の地史や地質現象がよくわかる地質遺産を多数含むだけでなく、考古学的・生態学的・文化的な価値のあるサイトも含む一つのまとまった地域であること、公的機関などによる運営組織がしっかりしていること、ジオツーリズムなどを通じて、地域の社会・経済発展を図ることなどがあげられます。ただ、日本ではお国柄なのか観光による「経済発展」重視の印象があるのは気になります。

日本でジオパークに関わりがあるのは自然公園です。自然公園法によって「優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とする」と決められたもので国立公園などはこれに基づいています。最初に国立公園の多くが火山、海岸地形、断層や褶曲などの地質学的理由で選定されました。ところが、2003年の自然公園法の改正によって、「優れた自然の風景保護」に加え、「生態系の保全と野生生物保護の機能」が付け加えられました。生物も地質同様に自然の一構成員ですからそれ自体は問題はないのですが、そのころから、野生生物保護に偏った内容が目立つようになってきたと思います。ビジターセンターなどでも高山植物や野鳥・野生動物の解説ばかりで、地学関係の展示が少ないように思われます。現在の日本のジオパークの多くは地質に関するすぐれた自然遺産を保全するだけでなく、それらを観光(ジオツーリズム)や教育に積極的に活用し、地域の活性化を図ろうという特徴があります。首相が「国立公園内に高級リゾートホテルや大型複合施設の誘致」を提唱する国ですので、日本のジオパークが商業施設とならないか心配です。

さてジオサイトとは何でしょう？ 多く見られるのは「ジオパークの中で見どころとなる地形や

地層を観察できる場所」と書かれています。さらに、生物、歴史、文化などまで含まれるとするものもあります。どなたの“定義”か知りませんが、この定義に従えば愛知県にジオサイトは一つも無くなります。geo+sites ですので「意義のある地形・地質が見られるところ」が正解だと思います。いくつか調べた中で、萩ジオパークの HP の次のような記載が一番正しいと思います。

「日本のジオパークでは、“ジオパークの見どころ”という意味で、地形や地質はもちろん、植物が生育している場所も、歴史的な建物も、資料館も 全部「ジオサイト」という言葉を使ってきました。ところがこれは本来の意味とは違います。「ジオサイト」は“地球の活動がわかる地質や地形がある場所”であり、それ以上でも以下でもありません。地質や地形は「ジオサイト」、生態系は「生態サイト」、文化は「文化サイト」、景色を見る場所は「ビューポイント」、そして施設は施設です。」

[chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://hagi-geopark.jp/wp-content/themes/maintheme/pdf/06\\_onepoint\\_201711.pdf](chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://hagi-geopark.jp/wp-content/themes/maintheme/pdf/06_onepoint_201711.pdf)

## (2) 「あいちの地質 99 選」

ジオサイトに適したところには、「意義のある地形・地質が見られるところ」のほかに次の点が考えられます。一つは、簡単に（主に人為的に）無くならないことです。都市部とその周縁では工事や開発によって露頭自体がなくなることがよくあります。今回の「99 選」でも気を付けてはいますが消滅したところがあるかもしれません。露頭自体は無くならなくても、コンクリートで覆われて見えなくなることもあります。さらに草木の成長によって見えなくなることは多くの場所で起こっています。この点からいえることは、新しい時代（比較的軟らかい）の地層・岩石は侵食を受けやすいので、中生代以前の地層・岩石が一般的にはよくジオサイトになっています。愛知県でいえば、美濃帯の中古生層、花崗岩類や変成岩類、鳳来寺周辺の火成岩類が侵食されにくく、ジオサイトの候補地として適していると思われます。

次は、注目を集めるという点で、ジオサイトに選ばれているところは、見た目で「変わった形」・「色や模様がきれい」・「大きい」などの点が重視されている気がします。多分これが上記の「優れた自然の風景」と考えられているのかもしれませんが。地質は生物に比較して色も地味なものが多く、変化も滅多にありませんので人々の関心を引きにくいのが残念？ですね。

今回あげた「99 選」以外にも多くの「意義のある地形・地質が見られるところ」はあると思います。100 番目は数多くあるかもしれません。これらのジオサイトが「保全」のために、手が触れられない状態にならないことを願っています。

「99 選」の個々の説明（場所・地質的意義など）や関連の写真は、今後、紹介していく予定です。



図1 設楽層群下田層  
設楽町田口



図2 球状花崗岩  
豊田市猿投山



図3 中央構造線露頭  
新城市有海

## 愛知県のジオサイト99

	地点	内容	地域	保存
1	犬山市栗栖桃太郎神社	美濃帯ジュラ紀付加体：チャート， マンガン坑跡	尾北	A
2	犬山市善師野	新第三系中村層：砂層 メタセコイア	尾北	A
3	犬山市浅間神社	安楽寺花崗岩	尾北	A
4	犬山市継鹿尾寂光院	美濃帯ジュラ紀付加体：チャート， 継鹿尾層	尾北	A
5	犬山市奥入鹿・八曾	美濃帯ジュラ紀付加体：石灰岩， 放散虫頁岩	尾北	A
6	小牧市岩崎五枚岩	花崗岩類	尾北	A
7	小牧市小牧山	美濃帯ジュラ紀付加体：チャート	尾北	A
8	春日井市弥勒山麓	美濃帯ジュラ紀付加体：大理石	尾東	A
9	春日井市地藏川	天井川	尾東	A
10	稲沢市祖父江町	河畔砂丘	尾東	A
11	瀬戸市定光寺	美濃帯ジュラ紀付加体：砂岩， 泥岩	名瀬	A
12	瀬戸市内田町	品野層	名瀬	A
13	瀬戸市水野	目鼻石：チャート， 甌穴	名瀬	A
14	瀬戸市海上の森	苗木-土岐花崗岩	名瀬	A
15	日進市岩崎	ホルンフェルス	名瀬	A
16	名古屋市守山区東谷山	ホルンフェルス	名瀬	A
17	名古屋志千種区平和公園	八事層 唐山層 礫層	名瀬	A
18	名古屋市東区長母寺	熱田層 砂礫層	名瀬	A
19	常滑市大谷	大谷火山灰層	知多	A
20	南知多町篠島	花崗岩類：神原トータル岩	知多	A
21	南知多町日間賀島	砂岩泥岩互層	知多	A
22	知多市佐布里池	火山灰層	知多	A
23	美浜町野間崎	波食台	知多	A
24	美浜町古布	褶曲	知多	A
25	南知多町礪浦	礫岩層	知多	A
26	南知多町長谷崎	砂泥互層	知多	A
27	南知多町小佐	砂岩脈	知多	B
28	南知多町名切	層間褶曲	知多	B
29	豊田市平戸橋	伊奈川花崗岩	西三	A
30	豊田市足助香嵐溪	伊奈川花崗岩 シュードタキライト	西三	A
31	豊田市猿投山	伊奈川花崗岩 菊石	西三	A
32	豊田市村積山	武節花崗岩	西三	A
33	豊田市二畳が滝	塩基性岩類 マグマの混交	西三	A
34	豊田市大井平	武節花崗岩	西三	A
35	豊田市三国山	亀甲岩	西三	A

36	豊田市戸中町	伊奈川花崗岩	西三	A
37	碧南市・安城市 油ヶ淵	汽水湖	西三	A
38	刈谷市井ヶ谷	三好層 礫層	西三	A
39	西尾市吉良宮崎	神原トーナル岩	西三	A
40	西尾市梶島	神原トーナル岩	西三	A
41	西尾市佐久島	砂泥互層	西三	A
42	西尾市八面山	領家変成岩 キララ鉱山跡	西三	A
43	西尾市三ヶ根山	領家変成岩：雲母片岩 石英片岩	西三	A
44	東幡豆町愛知こどもの国	神原トーナル岩	西三	A
45	蒲郡市西浦温泉	神原トーナル岩	西三	A
46	蒲郡市竹島	神原トーナル岩	西三	A
47	蒲郡市深溝	三河地震	西三	A
48	岡崎市真伝町・小呂町	武節花崗岩 吉祥石 小呂青石	西三	A
49	岡崎市明美町	領家変成岩：泥質片岩	西三	A
50	岡崎市上衣文町	領家変成岩：泥質片岩，本宿層，不整合	西三	A
51	岡崎市才栗町	塩基性岩類 マグマの混交	西三	A
52	岡崎市牛乗山	竜泉寺層	西三	A
53	岡崎市桜井寺 三河珪石	礫岩脈	西三	A
54	岡崎市本宮山山頂	領家変成岩：砂質片岩	東三	A
55	岡崎市くらがり溪谷	領家変成岩	東三	A
56	豊橋市岩屋観音	秩父帯 チャート	東三	A
57	豊橋市葦毛湿原	チャート	東三	A
58	豊橋市吉祥山	塩基性岩類	東三	A
59	豊橋市西幸町	高師小僧	東三	A
60	豊橋市石巻山	石灰岩 苦鉄質凝灰岩	東三	A
61	豊橋市嵩山	蛇穴・水穴	東三	A
62	豊橋市霞堤	霞堤	東三	A
63	新城市花ノ木公園	新城トーナル岩	東三	A
64	新城市阿寺の七滝	巢山火砕岩	東三	A
65	新城市四谷	地すべり	東三	A
66	新城市百間滝	カタクラサイト	東三	A
67	新城市黄楊野	三波川帯 御荷銚帯 カンラン岩 蛇紋岩	東三	A
68	新城市桜淵	緑色片岩 石灰岩	東三	A
69	新城市作手	始良火山灰 作手層	東三	A
70	新城市鳳来湖第10岩脈	岩脈	東三	A
71	新城市鳳来寺山	松脂岩等	東三	A

72	新城市馬の背岩	岩脈	東三	A
73	新城市花垣鉦山跡	安山岩岩床	東三	A
74	新城市三河大石	松脂岩転石	東三	A
75	新城市棚山	松脂岩 オパール	東三	A
76	新城市乳岩・乳岩峡	流紋岩質凝灰岩	東三	A
77	新城市雨生山	蛇紋岩	東三	A
78	新城市長篠	中央構造線露頭	東三	A
79	新城市八昇峠	細川断層	東三	A
80	設楽町柴石峠	植物化石	東三	A
81	設楽町面の木峠	基底礫岩	東三	A
82	設楽町津具	津具金山坑あと 白鳥山水晶	東三	A
83	設楽町奥段戸	領家変成岩 珪質片岩 水晶	東三	A
84	東栄町膳棚淵	複合岩脈	東三	A
85	東栄町煮え淵	天竜峡花崗岩 ポットホール	東三	A
86	東栄町古戸鍾乳洞	領家変成岩：石灰岩 大理石 鍾乳洞	東三	A
87	東栄町預かり淵	天竜峡花崗岩	東三	A
88	東栄町本郷・東栄温泉	柱状節理	東三	A
89	東栄町振草鉦山	セリサイト 硫砒鉄鉍	東三	A
90	豊根村茶臼山 萩太郎山	津具層 安山岩	東三	A
91	豊根村猪古里	斑レイ岩体	東三	A
92	田原市伊良湖灯台	三波川帯 砂質片岩 塩基性岩	渥美	A
93	田原市日出の石門	秩父帯チャート	渥美	A
94	田原市高松海岸	貝化石層	渥美	B
95	田原市蔵王山・笠山	塩基性岩類 石灰岩 チャート	渥美	A
96	田原市光岩・村松の鏡肌	断層鏡肌	渥美	A
97	田原市古田町	福江層 中位段丘層	渥美	A
98	田原市伊古部	赤沢泥層	渥美	A
99	田原市片浜十三里	50km続く砂浜	渥美	A

ジオサイトの写真



P01 栗栖



P02 善師野



P03 浅間神社



P04 継鹿尾



P05 奥入鹿



P06 五枚岩



P07 小牧城



P08 弥勒山



P09 地藏川



P10 祖父江砂丘



P11 定光寺



P12 品野層



P13 目鼻石



P14 海上の森



P15 岩崎



P16 東谷山



P17 平和公園



P18 長母寺



P19 常滑大谷



P20 篠島



P21 日間賀島



P22 佐布里池



P23 野間崎



P24 古布褶曲



P25 礫浦



P26 長谷崎



P27 小佐砂岩脈



P28 名切褶曲



P29 平戸橋



P30 香嵐溪



P31 球状花崗岩



P32 村積山



P33 二疊が滝



P34 大井平



P35 亀甲岩



P36 豊田市戸中



P37 油ヶ淵



P38 三好層



P39 吉良宮崎



P40 梶島



P41 佐久島



P42 八面山



P43 三ヶ根山



P44 こどもの国



P45 西浦海岸



P46 竹島



P47 深溝断層



P48 吉祥石



P49 岡崎市明美町



P50 上衣文町



P51 才栗町



P52 牛乗山



P53 桜井寺



P54 本宮山



P55 くらがり溪谷



P56 岩屋観音



P57 葦毛湿原



P58 吉祥山



P59 高師小僧



P60 石巻山



P61 嵩山



P62 霞堤



P63 花ノ木公園



P64 阿寺七滝



P65 四谷地すべり



P66 百間滝



P67 黄楊野



P68 桜淵



P69 始良火山灰



P70 鳳来湖



P71 鳳来寺山



P72 馬の背岩



P73 花垣鉦山跡



P74 三河大石



P75 棚山



P76 乳岩



P77 雨生山



P78 長篠中央構造線



P79 細川断層



P80 柴石峠



P81 面の木峠



P82 津具白鳥山



P83 設楽町段戸



P84 膳棚淵



P85 煮え淵



P86 古戸



P87 預り淵



P88 東栄町本郷



P89 振草鉦山



P90 茶白山



P91 猪古里



P92 伊良湖灯台



P93 日出の石門



P94 高松海岸



P95 笠山



P96 断層鏡肌



P97 福江層



P98 田原町伊古部



P99 片浜十三里

### 参考・引用文献

村松憲一，1980，郷土の地学 スライド集. 文部省科研費奨励研究（B）報告書付録，12p.

村松憲一，2012，愛知の大地とその生き立ち. 223 p.

村松憲一，2019，愛知県の地質とジオサイト（第二版）. 189 p.